

八ヶ岳（赤岳・阿弥陀岳）山行報告

【山行日】 2016年9月10日(土)－11日(日)

【天気】 晴れ時々曇り

【メンバー】 CL:小川、計6名

【コースタイム】

9/10 岩舟支所 5:00—美濃戸口 7:50/8:00…美濃戸山荘 9:10…(南沢)…行者小屋 12:10/12:50…
地蔵の頭 14:20…赤岳天望荘 14:30

9/11 赤岳天望荘 6:00…赤岳 6:40/7:00…中岳 8:15…中岳のコル 8:30…阿弥陀岳 9:00/9:10…
中岳のコル 9:30…行者小屋 10:20/11:00…赤岳鉱泉 11:30…(北沢)…美濃戸山荘 13:20…
美濃戸口 14:20—温泉入浴—岩舟支所 18:00

赤岳は初めての登山、「百聞は一見に如かず」の言葉どおり行って見てよかった。
文字や写真では味わえない恐怖をたくさん体験してきた。
でも大変楽しい山行でした。

(町記)

天気は最高！

苔むした樹林帯から、岩場あり、鎖場、はしごなど変化に富んでおり、北アルプスから南アルプスまで一望することが出来、楽しい山行が出来ました。
また行きたい山、何度でも行きたい山の一つです。

(清記)

赤岳、阿弥陀岳はガイドブックのとおり、岩稜クサリ、はしごの続く険しい山でした。花のシーズンが終わって駐車場も空いているだろうと思いきや、土日のせいもあり、美濃戸山荘前は満車！赤岳展望荘もかなりの混雑でした。珍しい五右衛門風呂に入りました。イモ洗い、汗をながし、温まるのみですが、気持ち良かったです。雨の予想が外れ適度の晴れで360度見渡せました。小屋の食事等、話には聞いていましたが、快適でした。CL及び参加者(晴女、晴男)の皆さん、大変お世話になりました。有難うございました。

(阿部マ記)

赤岳は八ヶ岳の主峰だそうです。ガイドブックに地蔵尾根は長いクサリ場や急な梯子有りであったので、少し不安でした。しかし岩場のトレーニングを思い出し、三点確保、梯子の持ち方などをイメージトレーニングし、実践した結果、無事お地蔵さんと導標に辿り着きました。(やったあ～！)2日目、今度は無事下山出来るかが不安でした。岩場や砂礫地の歩き方は、体重移動しながらゆっくり歩くと滑らない、と研修で学んだ事を思い出し、無事転倒しないで歩くことが出来ました。赤岳は私にとって厳しい山でしたが、今度は花のシーズンにチャレンジしたいなと思いました。リーダーさん、参加者の皆さん、大変お世話になりました。有難うございました。

(阿よ記)

赤岳に登ったのはこれで三回目だ。一回目、4年前に美濃戸から北沢コースを通り、行者小屋に着く前に激しく足がつった。あの頃は薬もなく、片足ごとに交互につる足をだましまし、やっとの思いで赤岳頂上山荘まで登った。二度と来ることはないと思った。

その2年後、白駒池から八ヶ岳縦走ということで、赤岳を通過して権現岳まで行った。

そしてまた2年後の今回、何の因果か二度と登らないはずの赤岳にまた来てしまった。コースは初回とほぼ同じ。4年前のリベンジという気持ちもあったかもしれないが、赤岳そのものよりも、来るたびに眺めていた阿弥陀岳に関心があった。赤岳はリベンジを達成したのもういいかな。五右衛門風呂にも入ったし…。阿弥陀岳も登ったのでとりあえず満足。

次は阿弥陀岳頂上からよく見えた権現岳。サクッと編笠山を登り、青年小屋に泊まって権現岳かな。
(島 記)

今回、仙石さんの代理でリーダーを引き受けました。心配していた天候も問題無く、初秋の南八ヶ岳をゆっくり歩いてきました。今まで南八ヶ岳を訪れていたのは、雪の時期しかなく、また今回登った赤岳と阿弥陀岳は初登であったため、ちょっと不安はありましたが、メンバーに支えられ事故無く山行を終えることができました。

宿泊した赤岳天望荘は、稜線の山小屋ではありますが、お風呂にも入れることができ、食事もバイキング形式でおいしくたくさん食べることができました。また、滞在中コーヒー・お茶・お湯は、飲み放題であり、宿泊も大部屋料金でありながら、6人で天井の低い個室に宿泊できたため、ぐっすりと寝ることができました。

登る時期を変えて、また訪れたい山域です。同行したみなさんたいへんお世話になりました。今後ともよろしくお願ひします。
(小 記)



美濃戸口



南沢を登ってます



行者小屋に到着



地蔵尾根を登ります



階段もあります



岩場もあります



地蔵の頭



赤岳天望荘に到着



夕食



朝、赤岳をバックに山荘前



阿弥陀岳をバックに



ガレ場を登山中



赤嶽神社前で



赤岳山頂標識でも



急な下り



鎖を頼りに



これから向かう阿弥陀岳



中岳山頂



阿弥陀岳山頂



中岳コルからの下り



樹林帯の下り



行者小屋まで下山



北沢を下山中



無事下山できました